

(特非) 森からつづく道

オオキトンボを育む里地を知る・保つ・伝える・つなげるプロジェクト

活動地域  愛媛県松山市北条地域



地元小学校3年生による産卵観察会が定着

課題

オオキトンボが生息するため池の水管理が改修工事等により変更され、産卵や孵化に適した環境が失われ、生息数が減少傾向にあるが、農業従事者に関心を高めてもらいたい。

目標

本種が発生する五つのため池の管理者により、生息地ネットワーク構想が共有され、広域で本種の生息に寄与するため池管理が導入され、生息数の増加傾向が継続する。



今後の
展望

オオキくん通信(年10回発行)は3年目に入り、松山市内全52の小学校へ配布している。自然への関心が高まるよう、身近な生き物に関する情報提供を継続する。企業の協力を獲得するツールとしても活用する。

ひろげる助成

2年目

知識の提供・普及啓発

活動内容と成果

- 2020年は本種の発生が増加したが、2021年は約3割減少となった。湛水開始の遅れが要因の一つと考えられるため、2022年は2月より水位を把握し、管理者に早期の湛水を依頼した
- 北条地域の多様な生態系への関心を高めるために、QRコードで解説が読めるポスターを2種作成して小学校に配布したほか、アクリル樹脂を使ったトンボの標本を作成した
- 地元銀行の協力を得て店舗ロビーでトンボの写真と活動の展示を行った。トンボ風づくりWSの様子がCATVのニュースで繰り返し放映され、活動の発信が充実した



調査日数

33日

ステークホルダー増加

2組織

今年度計画の達成度

75%

目標達成度

60%

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

ため池管理者が2022年4月から交代するが、3月中に人選が定まらず、水管理に係る依頼の連絡を繰り返すこととなった。

■工夫した点

本種保全の関心層を広げるため、トンボ風づくり＆風あげWSを実施した。名物となれば、トンボの里の認知度アップが期待できる。

〒790-0827

愛媛県松山市鉄砲町1-7

電話：089-992-9152

E-mail：info@morimichi.org

HP：http://morimichi.org/

